

# イスラム市場開拓への期待と課題

(配布資料)

並河良一 (帝京大学)

## イスラム市場とは

イスラム食品市場の魅力

市場規模が大

イスラム教徒の数

生活水準が向上

石油価格の高騰→経済成長

農産物の純輸入国

未開発の市場

制度の拡大

## ハラル制度の内容

### ハラルとは

- ハラル (Halal)
- ハラム (Haram)
- シュブハ (Syubhah)

### 原則

- 神が創造したものはすべてハラル
- 人々が生活して行くに際し、ハラムのモノは不要であり、ハラルのモノだけで十分

### ハラル制度の構成

- ハラル
- トイバン (Thoyyiban)

### 原則：農場から食卓まで

- サプライチェーンのすべての段階でハラル→ハラル

### 禁止食材

- 所定方法で処理されなかった動物
- 豚
- アルコール飲料

### 食肉処理

- 処理者
  - 資質あるイスラム教徒
  - イスラム教徒検査員が監督
- 処理方法
  - 厳密に規定
  - 電気ショックは推奨されない

### 製造加工機械・反応装置

- 非ハラルのものからの隔離

儀礼的洗淨

食品衛生

世俗法、国際規格と互換性

輸送・保管・陳列

非ハラルのものからの隔離

包装・容器

素材がハラル

デザインの規制も

管理システム

調理

## ハラール制度の難しい点

イスラム教という宗教

制度の宗教性

イスラム教徒の関与が必要なプロセス

宗教行為の強制

制度の非科学性

強い倫理性

実質主義の考え方

社会経済インフラの欠如

中間投入物の概念

食品の製造プロセスで使用されるが、最終製品に残留しない食材

ハラールでない中間投入物は使用不可

派生物

禁止される食材に由来する食材

トラブルの原因

## イスラム食品市場開拓を阻む要因

### 非成文制度

非成文が「原則」

ほとんどのイスラム国では、ハラル制度は成文化されていない

中東には認証のための成文制度がない

社会の中にハラルという概念が強固に存在

社会・経済は、ハラルであることを前提

普通に生活しておれば、ハラルでない食品を口にする子はない

### 国際的な不整合性

内容の相違

カバーする範囲の相違

運用の相違

### 互換性の欠如

各国・各宗教機関が、他国・他の宗教機関の認証を受け入れず

### 制度統一化、互換性向上の努力

実現可能性は？

宗教対立、利害対立

### ハラル制度：国により消費者意識が異なる

マレーシアの消費者は世界標準ではない

### トラブル事例

インドネシア味の素事件

佐賀牛事件

マレーシア・チョコレート事件

### 市場開発戦略

直接投資

OEM

輸出

## 国内イスラム市場

### 市場規模

最大でも 350 億円程度  
ブームになるほどの大きな市場ではない

### 国内イスラム市場開発への懸念

国内でハラール食品を作ることは困難  
ハラールメニューを作ることは困難  
和製の新概念は、厳格な宗教者に理解されるか？  
ムスリム・フレンドリー？？？  
日本人の宗教観はムスリムの宗教観とは異なる

### 留意点

川下産業の責任

納入者の協力は必須

結果責任

「知らなかった」は通らない  
故意過失なしでも責任  
神に申し開きできるか？

正直な表示

ハラール表示は重い

**No Pork, No Lard** という表示のリスク

宗教機関からの認証を！

宗教ビジネスの認証？

行政（含む：外郭団体）の認証？

個人による認証？